

# 北海道新聞

## 夕刊

2015年  
8月18日  
火曜日

発行所  
北海道新聞社  
〒060-8711  
札幌市中央区大通西3丁目6  
電話 011-221-2111  
dd.hokkaido-np.co.jp  
読者センター  
011-210-5888  
(日曜・祝日除く9時~18時)  
ご購入申し込み  
0120-464-104  
ヨムヨム ドーシン

**私** は終戦の翌年の生まれです。両親から戦争の話はたくさん聞きました。祖父・正義は米国生まれ。祖父が広島県からの移住者でした。世界恐慌後のシカゴで苦勞して学費を稼ぎ、ネブラスカ州立大を首席で卒業した。父の誇りです。それなのに人種差別のために就職できず、30歳くらいで日本に来ます。資生堂に入社し、母・迪子と社内結婚しました。母は英文学者の娘で聖心女子大卒でした。順風満帆の時代が1年はあったと思う。しかし米国の戦争前後となり、英語ができる人間はスパイ扱い。短波放送を聞いていただけで、憲兵にしょっぴかれたそうです。2人はフィリピンへ渡りました。

終戦間際にはフィリピン人のゲリラや米軍が迫り、2人は日本軍と行動を共にして、レイテ島のジャングルに逃れました。生きながらにウジがわいた人。「ああ、動いている」と思ったら、無数のウジにたかられた死体だったこと。持病のあった父を、母は棒でたたいて歩かせたそうです。マラリアもひどかった。最初は3千人いたのに、生き残ったのは500人だったといえます。最後は米軍に保護されたのかな。母は、たぎ火が上手だね。どんなに雨が降っていても、マッチ一本で火をおこせた。ジャングルで身につけたのです。

**東京に戻ると迪子さんは英語力を買われ、進駐軍の基地に職を得た。そこで米軍中尉と出会い、井上さんを宿す。**

日本に帰ったものの、身も心もぼろぼろ。米国人に優しくされ、好きになったのでしよう。生まれた赤ん坊を見て、父は「俺の子じゃない」と言い、3日間、家に帰らなかつたそうです。母はカトリック教徒でした。司祭に「実父のことは黙っていなさい」と言われた両親は、その助言を忠実に守ったのです。

いもうえ・みちよし 東京都出身。シカゴ交響楽団など内外のオーケストラを指揮し、現在はオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、大阪フィル首席指揮者。日ロの楽団によるシヨスタコービッチの交響曲全曲演奏を行い、作曲にも取り組む。

## 不協和音の先にある感謝

30代後半のころ、オーケストラとのあつれきから、自分の常識が社会の常識とは異なることに思い至りました。母に「俺は日本人ではないのでは」と話したら、米国人が実父だと打ち明けられたのです。「もっと早く言ってほしかった」と、ずっと思っています。ぼくはどこに属するのかわ。今もよく分からない。それは、国籍を持つ米国で差別され、日本ではスパイ扱いされた父の正義を感じたことでもあったでしょう。

咽頭がんとの壮絶な闘病の末に昨秋、舞台上に復帰。東京、大阪、金沢など各地の楽団を精力的に指揮している。

亡き父・正義に、自分を育ててくれたことへの感謝の思いを伝えたい。戦後70年の今年、父を主題にしたオペラ作品を完成させるつもりです。12月には、フィンランド人が作曲し、1955年に広島で日本初演された「HIROSHIMA」を指揮します。

戦場や死にそうなる病気の時、音楽は足しにならないかもしれませんが。音楽は今のかげがえのなさを伝え、この瞬間が永遠の一部だと感じさせてくれる。特に演奏会は、その感動を人々が分かち合う場になるのです。(聞き手・編集本部部長 藤盛一朗)

育ての父を主題にしたオペラ作品の草稿を背に、「両親はもっと早く真実を語ってほしかったな」と話す井上道義さんと大城戸剛撮影



## 30代で「実父は米軍人」と知らされた指揮者 井上道義さん(68) 私の戦後70年

## バンコクテロ邦人重体

### 死者20人 反政府派犯行か



【バンコク共同】タイの爆弾テロで、警察は18日、首都バンコクで17日夜起き、中国人とフィリピン人を含

む少なくとも20人が死亡、123人が負傷したことを明らかにした。バンコクの警察病院当局者は18日、日本人駐在員の安藤敏太さん(31)が負傷したと明らかにした。内臓を損傷して集中治療室(ICU)で治療を受けており、重体だといふ。(関連記事3、13面)

タイ国家警察長官は現場に仕掛けられていた爆弾が爆発したとして、テロとの見方を示した。捜査に当たっている治安当局幹部は共同通信に対し、昨年5月のクーデターでインラック前政権を倒した後発足した暫定政権に反対する勢力による犯行との見方を示した。

## 遺棄遺体は中1女子

### 大阪 同級生男子も不明

大阪府高槻市の物流会社駐車場で13日深夜、少女の遺体が見つかった事件で、大阪府警は18日、遺体が12日から行方不明になっていた大阪府寝屋川市の市立中1年の平田奈津美さん(13)と確認した。平田さんは殺害されて遺棄されたとみられる。同じ中学の1年の男子生徒(12)も連絡が取れず、府警は2人が事件に巻き込まれた可能性があるとして足取りを調べている。(関連記事13面)

府警によると、平田さんの母親が13日未明に家に行かないことに気付き、14日に寝屋川署に届け出た。男子生徒は12日夜、「平田さんと遊びに行く」と言って家を出た。

平田さんは身長約145センチ。行方不明時の服装は白いシャツにデニムの短パンで、遺体のもので酷似していた。男子生徒は身長約140センチ、黒いTシャツにハーフパンツをはいていた。平田さんの友人によると、13日未明、無料通信アプリLINE(ライン)に「野宿しようと思う」と平田さんから書き込みがあった。その後連絡が取れなくなり、15日朝、「みんな心配している」とメッセージを送ったが反応はなかった。

15日に大阪府寝屋川市駅周辺で男子生徒の自転車が見つかったが、付近の防犯カメラで姿は確認されなかった。2人が京都方面に向か

**紙面から**

広島 土砂災害から1年 12  
子供狙った不審者に注意を 13

**おぼんでした** 暮らしのレシビ  
夏バテ防止にビ